

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 岡山県 (知事部局)		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-8570 岡山県岡山市北区内山下二丁目 4 番 6 号	
本票作成	部署名：環境文化部脱炭素社会推進課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	庁舎における事務活動、下水道事業、道路、港湾、農業関係施設の維持管理等				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	児島湖流域下水道浄化センター		玉野市東七区 4 5 3	
	②	県営食肉地方卸売市場		岡山市中区桜橋一丁目 2 - 4 3	
	③	岡山県庁舎		岡山市北区内山下二丁目 4 - 6	
	④	工業技術センター・テクノサポート岡山		岡山市北区芳賀 5 3 0 1	
	⑤	岡山県南部健康づくりセンター		岡山市北区平田 4 0 8 - 1	
⑥	テレポート岡山		岡山市北区大内田 6 7 5		
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 126 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス	基準年度（令和 5 年度）		（ 令和 6 ）年度排出量	目標年度（ 令和 9 年度）
排出量	41,190 t CO ₂		41,754 t CO ₂	39,542 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	（令和 6 ）年度排出量	
	①	児島湖流域下水道浄化センター	14,724 t CO ₂	
	②	県営食肉地方卸売市場	2,900 t CO ₂	
	③	岡山県庁舎	2,081 t CO ₂	
	④	工業技術センター・テクノサポート岡山	1,578 t CO ₂	
	⑤	岡山県南部健康づくりセンター	1,485 t CO ₂	
	⑥	テレポート岡山	1,104 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 6 年度	～	令和 9 年度	(4 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.5 %	4.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 児島湖流域下水道浄化センターは処理水量、県営食肉地方卸売市場はと畜頭数、その他は延床面積。それぞれの基準年度比に総排出量に占める割合を乗じ、基準年度に対する削減の寄与度を算出。	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6) 年度	目標年度
		100.0 (%)	101.5 (%)	96.0 (%)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

岡山県環境マネジメントシステム及び省エネ法に基づくエネルギー管理体制の下、各事務所での省エネ・省資源の取組、省エネ機器の導入等を推進している。令和6年度は、電力や自動車燃料の実使用量については、基準年度より削減できている。しかし、温室効果ガス排出量は、排出要因の8割以上を占める電力の排出係数に大きく影響されており、試算では、令和6年度は、排出係数の増により基準年度比で953.6t-CO2増加となった。温室効果ガス総排出量は、基準年度比で1.4%増、原単位で1.5%増となり、目標達成は達成できなかった。目標を達成できるよう、引き続き各事務所に周知する。

【推進体制】

・県全組織を対象とする独自の環境マネジメントシステムを実施。最高経営層（知事、副知事）の指示により、環境管理責任者（環境文化部長）が事務処理を統括し、各部局長が各所属を統括して環境負荷の低減に取り組んだ。

・省エネ法に基づく事業者としてのエネルギー管理体制を整備し、エネルギー管理統括者（総務部長）、エネルギー管理委員会（各部局長等で構成）、エネルギー企画推進者（財産活用課）を置き、省エネルギーの一層の推進を図った。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全事業所	（令和6年度実施分） ・県全組織を対象とした県自らの省エネ・省資源などの率先行動計画として、「岡山県エコ・オフィス・プラン（岡山県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」）」（計画期間：令和5年度～令和12年度）の目標を達成するために、岡山県環境マネジメントシステムによる取組を推進した。
児島湖流域下水道浄化センター（都市計画課）	・浄化センターには水処理施設が4系列あるが、改修時期が到来した施設について、省エネ設備（超微細気泡散気装置、槽上式攪拌機）導入の工事を進めた。また、季節変動する流入量に合わせ、施設の稼働調整を行うことで、適切な運転を実施した。
岡山県庁舎等（財産活用課）	・県庁舎等において、蛍光灯4,790灯の高効率照明器具への更新のほか、誘導灯180灯も同様に更新した。
全事業所	（今後実施予定分） ・岡山県エコ・オフィス・プランの目標を達成するため、引き続き環境負荷の低減に係る取組を実施する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	岡山県エコ・オフィス・プランに沿って、太陽光発電設備の導入、新築建築物のZEB化、電動車の導入、LED照明の導入及び再生可能エネルギー電力の調達に取り組む。
その他	無	

【その他特記事項】

・冷暖房温度の適正管理、室内照明の効率的な使用を推進。

・エコドライブの実践を推進。

・クールビズ・ウォームビズ、ライトダウンの取組を実施。

・環境に配慮したイベント実施の手引き「グリーンイベントガイドライン」に適合するイベントを県ホームページに掲載することで、地球温暖化防止や省エネルギー、リサイクルなどの取組を支援。

【林政課】

・森林ボランティア団体等の森林保全活動を支援するとともに、「岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証制度（平成21年度創設）により、企業等が整備した森林によるCO2吸収量を評価・認証し、地球温暖化防止への貢献度を数値化（令和6年度認証状況：11企業・団体、14.40ha、67.42t-CO2）。

【治山課】

・造林補助事業等を活用した間伐等の支援により、県内の森林整備を推進。